

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	看護小規模多機能施設 のぞみ		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市港北区日吉本町6-66-3		
担当者	山田 智奈	連絡先	045-560-6312
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 開催日時・場所

日時	令和7年12月17日 15時30分 ~ 15時50分	場所	日横クリニック 会議室
----	----------------------------	----	-------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
■■■■■	地域住民の代表者	日吉本町西町会 会長
■■■■■	地域住民の代表者	高田地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	高田地区 民生委員・児童委員
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	日横クリニック 医師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	日吉堂薬局 薬剤師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	ひよこ訪問看護ステーション 看護師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	ひよこ訪問看護ステーション 理学療法士
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	インダ薬局 薬剤師
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	下田地域ケアプラ 社会福祉士
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	高田地域ケアプラ 看護師

4. 活動状況報告

別紙(様式3)のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

<活動状況について>

①町内会長:

施設は、町内会8年目になったと思う。緊急時には、地域民が避難することもあると思う。お互いに助け合いたいと思っている。現在も小学校で車いすの対応が必要な場合に協力いただくなどのやり取りをさせていただいている。

②薬剤師:

(薬の事故について)やはりもう一度よく確認するようにしてほしい。自身の薬局でも事故があったので振り返ることは重要だと思う。思いのほか高齢者は薬の飲み込みが難しく、意図せずに口腔内に残ってしまうことがある。利用者に応じて薬の剤形(ざいけい)を変えるなどしてもまだ事故は起きてしまうものなので、薬局として協力できることは行っていきたい。

<外部評価について>

①医師:

(BCPについて)災害時は区が対策本部を立ち上げ各区の判断に従うことになるが、港北区場合、赤タグ(トリアージにおいてすぐに治療が必要な患者)の患者は「横浜労災病院」が搬送先になるが、遠くて搬送できるわけではない。川崎市側は搬送できる医療機関が多い(井田病院、関東労災病医院、日本医科大学小杉病院)近くに「井田病院」があるにもかかわらずそこには行政区が違うので搬送できない。神奈川県に主張してようやく、川崎市側に搬送できるような動きになってきている。医師の間では互いに協力し合う気持ちがあるが、行政が追い付いていない。

②ケアプラザ:

(BCPについて)実際のところどこまで準備すればいいのかわからないが、事業所単位でしっかり準備してくれているのでお互いに協力しあっていきたい。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

①のぞみとして地域の避難場所にもなりうるため、地域の方々との交流を増やし、今後地域の防災訓練に参加してければ良いと考えている。

②引き続き事故防止に向けて取り組みを続けていきたい、必要な時は協力を依頼していきたいと思えます。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

特になし

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	看護小規模多機能施設 のぞみ		
所在地	横浜市港北区日吉本町6-66-3		
担当者	山田 智奈	連絡先	045-560-6312
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 登録者の状況

登録者数(11月 30日現在)	女性 18 名	男性 8 名	計 26 名
------------------	---------	--------	--------

要介護度(平均3.7)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	1名	1名	9名	7名	8名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者 (匿名)	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	25	24	5	
イ	30	5	0	
ウ	17	14	30	
エ	18	0	25	
オ	8	1	0	
カ	24	5	35	
キ	17	22	22	
ク	13	0	0	
ケ	14	0	54	
コ	23	0	69	
サ	15	7	24	
シ	25	17	14	
ス	11	0	0	
セ	25	25	6	
ソ	9	0	0	
タ	8	0	0	
チ	29	11	11	
ツ	6	6	0	在宅生活継続困難な為、施設へ移行
テ	18	5	4	
ト	19	4	44	
ナ	27	27	0	
ニ	22	18	0	
ヌ	22	2	54	
ネ	10	3	8	
ノ	29	28	2	
ハ	2	1	0	11/14 体調不良にて井田病院に入院
ヒ				
フ				
ヘ				
平均	17.9	8.7	15.7	

4. 運営方針

<p>事業所の目標</p>	<p>事業所の理念： その人らしく生きる～その一瞬を大切に～ 今年度法人目標： 「その人らしく生きる」を支え寄り添う介護を行う 今年度事業所目標： 「思いを笑顔に変えていく！！」</p>
<p>目標に向けた 具体的取組</p>	<p>【事業所のしつらえ・環境】 ・皆で作らあげる、季節を感じることでできる環境づくり ・日常生活の中でリハビリを組み込める環境づくり ・利用者・家族の思いをくみ取る為に寄り添う介護を行う</p> <p>【事業所と地域のかかわり】 ・地域と関わる機会を設ける（地域の行事に参加） ・地域の方にのぞみを知って頂ける機会を設ける（掲示板の活用）</p> <p>【業務・職員について】 ・働きやすい環境づくり、環境整備 ・自身の5感をフルに活用し変化に気づき、対応ができるようになる ・1日1つの「ありがとう」をもらえるように丁寧に関わる ・毎日の小さな感動を共有する</p>

5. 活動報告

<p>○社内研修 ジョブメドレーアカデミー（eラーニング） 9月…身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修 10月…プライバシー保護の取り組みに関する研修 11月…非常災害時の対応に関する研修</p> <p>○社外研修 9月18日合同職員研修（管理者研修） 管理者1名参加</p> <p>○行事 9月 手作りどらやき作り 10月 8日 夢見が先動物公園へドライブ 31日 ハロウィンを楽しもう ※フラワーアレンジメント…毎週第1土曜日 希望者のみ ※エッセンパン屋の移動販売</p>
--

6. 事故・ヒヤリハット報告

<p>内容</p>	<p>事故 4 件（行政報告 3 件） ①事故 内服忘れ 9/29（9:30） 朝訪問時、昨日の夕薬が連絡帳袋に残っている事に気づく。</p> <p>②事故 落薬 10/10（14:30） K様が座っている椅子の上に薬が落ちているのを発見する。 薬を確認しK様の薬である事を確認、医師へ報告。</p> <p>③事故 誤薬（人間違い） 10/21（9:10） 朝食後スタッフとWチェックをし、A様に朝薬を内服してもらう。 投薬後に薬表にサインをする時に利用者間違いに気づいた。医師へ報告し、 本来の朝薬は中止、バイタル測定12時、15時指示あり。ご家族へ謝罪の連絡を入れる。</p> <p>④事故 転落 10/23（13:10） ソファに座ろうとして椅子から滑り落ちてしまった</p> <p>ヒヤリハット 5件 ①転倒・転落のリスク 4 件 ②ケガのリスク 1 件</p>
-----------	---

改善策	<p>事故</p> <p>①【原因】 訪問スタッフは夕薬がある事は知っていたが、その日は頭から抜けていた。薬表の薬チェックの最終確認がされていなかった(遅番勤務の仕事)。訪問日はカバンから連絡帳を出さない為、服薬を忘れてしまったら気づくことが難しい。</p> <p>【対策】 自宅に薬カレンダーを設置し、目でみて確認できるようにした。遅番勤務者は必ず薬表の最終確認をするを再周知。</p> <p>②【原因】 薬杯に薬を入れる時、または薬杯から薬を内服する時に落ちてしまった可能性。朝薬の量が多い方である。</p> <p>【対策】 薬の量が多いので、何度かに分けて内服してもらう。内服時、目を離さず口に薬がはいったことを最後まで確認する。</p> <p>③【原因】 朝薬は本来夜勤者の仕事であるのに日勤者がしてしまった。Wチェック時、フルネームで言わず、下の名前だけで確認をしてしまった。下の名前が同じであった為、思い込みがあった。指さし確認をしていなかった。Wチェックをする際に声のみで確認をし、視覚で名前の確認をしなかった。名前カードが普段ある人だと気付いていながら、カードの準備をしなかった。日勤の業務の順番(入浴)があり、気持ちが焦っていた。B様の名前カードがまだ作成されていなかった。</p> <p>【対策】 朝食薬は夜勤者が服薬する事を徹底し、時間内に終わらない時は看護師へ報告する。決められた内服方法のルールを守る。名前確認はフルネームで行う。違和感を感じた時は、一度立ち止まり再度確認をする。顔写真は利用開始日に作成する。</p> <p>④【原因】 スタッフがフロアにいない状態であった。(他利用者介助にて)ご自身のペースで移動される方である。ソファーカーバーがつけてあり、滑りやすい状態であった</p> <p>【対策】 フロアにはスタッフが必ず一人いるように声を掛け合い業務をすすめる。滑る可能性がある為、カバーをはずした。</p>
-----	--

7. 地域への情報提供

- ・ 10/19 職員1人が町内会の清掃活動に参加しました。
- ・ 11/1 職員2名がふれあい大運動会に看護ボランティアとして参加しました。
- ・ 11/9 職員1名がふくふくスポーツフェスタの看護ボランティアに参加しました。

8. その他特記事項

特になし